

ひろばちがさき

No.942

新政ちがさき

2011年9月30日

茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1市役所内0467 (82) 1111

新政ちがさき有志
岸 正 明 87-8766
こいそ妙子 52-6731
和 田 清 84-9969
よしかわ和夫 86-0032
西田 淳一 83-7293

9月議会、提出議案・決算全て可決で全日程終わる！

去る9月29日、第3回定例議会が終了しました。今回は、平成23年度決算特別委員会も開かれ、決算の審査も行いました。各常任委員長、決算特別委員長よりの報告を受け、我が会派を代表して、岸正明議員と和田清議員が討論を行いました。

【岸正明議員】

今議会に提出された議案に対して討論を行いました。

●労働基準法を順守した市職員 の処遇を！

年末年始の時間外勤務手当の支給率が改正されたことに伴い、人事給与システム等を改修するため増額補正については、職員が、サービス残業等が無く、労働基準法がきちんと守られ、賃金未払いなどが起こらないよう要望する。

●住民税システムの改修委託は、 費用対効果を考え、ミスのない よう適正運用を！

地方税法の改正等に伴い、住民税システムを改修するため委託料の増額補正だが、国の法律改正等でしかたないが、増額が4千2百38万4千円と高額であり、費用対効果も含めて、システム上もミスがないよう改

修・その後の運用もきちんとしたシステムとなるよう要望する。

●医療制度の制度継続が可能な 将来設計を国や関係機関に働き かけを！

後期高齢者支援金、前期高齢者納付金の不足分及び返還金の確定による増額分のため繰出金を1千2百45万円増額するが、このような状況は今後も増えてくると思うので、国や関係機関に対して制度継続のための将来設計について強く要望することを目指す。

●災害時要援護者支援に関して は、各地域との連携強化を！

災害時要援護者支援体制に係るワークショップを開催するため委託料を増額補正するものだが、一部地域では自治会や自主防災組織が独自で災害時要援護者制度を推進している。ぜひ、各地域との連携が強固となり、地域のさらなる安全安心につながるよう要望する。

●太陽光発電装置普及の推進 を！

住宅用太陽光発電装置設置費補助金の申請件数増加が見込まれるため、補助金を増額補正す

るものであるが、地球温暖化抑制や昨今の、電力事情を踏まえ、大変評価するものである。

●地域経済活性化のため、中小 企業に対する融資の拡大を！

新たに取扱金融機関を追加するため補助金と貸付金を増額補正するものであるが、日本の経済事情を考えると評価する。

●今後も中小企業が元気の出る 対策の検討を要望する。

●コミュニティバスの展示で、 利用者拡大を！

初代の車両を茅ヶ崎公園に展示保存することにより、より一層コミュニティバスが市民に愛され、利用者が増加することを期待する。今後の管理については、費用があまりかからないよう要望する。

【和田清議員】

23年度決算について討論を行いました。

●事務事業評価を実効性のある ものに！

行政の評価は、実施することが目的化し、実質的な効果や効率を評価する姿勢がない。経費に関して人件費を一律で計算

するなど、実態と違う。実際の経費をしっかりと出して分析し、費用対効果がしっかりと見えるよう要望する。

●市職員の処遇改善を！

職員の残業を見ると一部の部課に偏った傾向が続いている。適正な職員配置や、フレキシブルな担当制を敷くなどの工夫がほしい。また、メンタルケアの研修を増やすなどの改善を要望する。

●医療・介護費用の抑制のため、 健康対策の推進、応益負担の適 正な徴収を！

国から示された事業メニューをこなすだけに終わり成果が見えない。毎年増大する社会保障関係経費抑制のためにも、全庁的な取り組みと市長のリーダーシップを要望する。

●官民協力の推進を図るために 行政は市民目線で！

市民提案型共同事業の応募が激減している。多様化する現代社会において、行政だけでは対応できない。また、様々な市民活動が活発化している。市民との協力を図るためには、市民の目線に立つて制度設計や行政の姿勢など再検討を要望する。